



杏 壇  
(阜 曲)

大成殿の前にある丹碧美しき閣樓である。即ち孔子堂に教授するの遺址であつて、漢の明帝嘗て此に御し、皇太子諸王に命じて經を堂上に説かじめ、後世以て殿を作り、宋の仁宗天聖年間、聖裔孔道輔(字は原魯)祖廟を監修し、大殿をその北に移し、其故址を毀つに忍びず、莊子漁夫の篇に『孔子緇帷の林に遊び、杏壇の上に休坐す、弟子書を讀み、孔子弦歌して琴を鼓す』とあるにより壇を作り杏を植え、以て杏壇と名づけた。  
(一九二九撮影) (印畫の複製を禁ず)